

施策番号	1302		
施策名	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり		
概要	児童虐待対策と被虐待児をはじめたした養護等が必要な子どもへの支援を進めるとともに、障害や疾病等のある子どもに対して成長に応じた切れ目ない支援を行う。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関する主な分野別計画等	京都市未来子どもプラン		

施策の評価

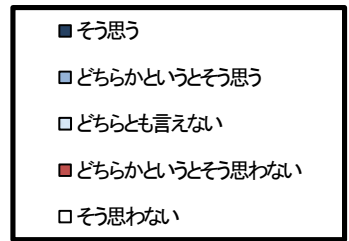
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 虐待相談に対し速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	-	c	95.6	94.1	100	94.1%	c	1.00
2 虐待相談ホームページアクセス件数(件)	-	a	110,445	117,792	121,490	97.0%	b	0.50
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		b	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。	36 6.8%	145 27.4%	273 51.6%	45 8.5%	30 5.7%	529	c
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	c	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 児童相談所における児童虐待防止という対象者が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・48時間以内の対応については、被虐待児が特定されていない通告(いわゆる泣き声通告)が増加し、児童の特定に時間を要する案件が増加したため、c評価となった。 ・アクセス数は、市民の児童虐待への関心の高まりを受けて、b評価となった。 ・市民の実感では、約34%の市民が、子どものいのちと人権が大切にされていると感じており、取組の効果が市民生活に実感されつつあることがうかがわれる。 ・昨年度に比べると「市民の実感評価」が減少しているが、最近の他都市等で発生した虐待事案の影響があると思われる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	障害児保育対策	453,453	451,697	良い	保健福祉局
2	児童福祉施設措置費(児童)	35,411	36,654	良い	保健福祉局
3	子育て支援短期利用事業	73,494	68,340	良い	保健福祉局
4	学童クラブ障害児対策	72,435	67,211	かなり良い	保健福祉局
5	里親制度の推進(児童虐待防止対策の充実)	1,828	1,857	良い	保健福祉局
6	児童福祉施設単費援護事業	17,246	18,923	良い	保健福祉局
7	養護施設・母子生活支援施設育成事業	1,612	1,599	かなり良い	保健福祉局
8	育児支援家庭訪問事業	78,193	85,442	良い	保健福祉局
9	障害のある児童のはあとステイ事業	4,802	6,832	かなり良い	保健福祉局
10	身元保証人確保対策事業	2,379	2,445	普通	保健福祉局
11	児童虐待防止啓発事業	22,323	19,323	良い	保健福祉局
12	里親支援事業	6,228	10,137	かなり良い	保健福祉局
13	自立援助ホーム運営補助	7,183	12,804	かなり良い	保健福祉局
14	児童福祉センター管理運営	1,661,075	1,758,566	良い	保健福祉局
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・児童相談所に寄せられる虐待通告に対しては、引き続き48時間以内の児童の安全確認を厳守する。
 ・第2児童福祉センタを平成24年4月に開設したことを踏まえ、関係機関・団体の連携や地域における支援体制のさらなる充実を図る。
 ・ホームページや印刷物の更新等により、子育て家庭をはじめとする市民への情報提供を行う。
 ・地域の子育て応援者の家庭訪問により、子育て支援情報の提供や育児相談等を行い、子育て家庭を地域ぐるみでサポートするとともに、児童虐待の未然防止につなげる。

施策名	1302	子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり
-----	------	------------------------

指標名	虐待相談に対し速やかに対応（48時間以内）した件数の割合（％）
-----	---------------------------------

担当課	児童福祉センター児童相談所	連絡先	801-2929
-----	---------------	-----	----------

1 指標の説明
虐待相談通告について、48時間以内に児童の安全を確認をした割合

2 指標の意味
社会の宝である子どもの人権を守るための早急な対応状況を示す指標

3 算出方法・出典等
算出方法：虐待通告件数に対し、48時間以内に児童の安全確認ができなかった件数を差し引いた割合
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	95.6	94.1	1.5ポイント減	100	完全実施すべき数値	94.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準
最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%
b：96%以上～100%未満
c：92%以上～96%未満
d：88%以上～92%未満
e：88%未満

6 基準説明
当該指標については、国の通知に基づき、48時間以内に被虐待児童の安全確認を行うことを原則としているため、100%をa、それ以下を4%刻みで設定した。

7 評価結果

	23	24
-	C	C

指標名	虐待相談ホームページアクセス件数（件）
-----	---------------------

担当課	児童福祉センター児童相談所	連絡先	801-2929
-----	---------------	-----	----------

1 指標の説明
児童相談所ホームページ「あした笑顔になあれ～子どもSOS児童虐待防止ウェブサイト～」のアクセス件数

2 指標の意味
社会の宝である子どもの人権の保護に向けた市民の関心度を示す指標

3 算出方法・出典等
算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	110,445	117,792	7,347件増	121,490	前年度実績の1割増	97.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準
最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明
当該指標については児童虐待防止のため周知・啓発の強化を行っていることから、100%以上をa、それ以下を10%刻みで設定した。

7 評価結果

	23	24
-	a	b